

【作品集】

彫刻作品

ー空間ドローイングー

難波 章人

Sculpture

ーThe Spatial Drawingー

by

Akito NAMBA

作品題名

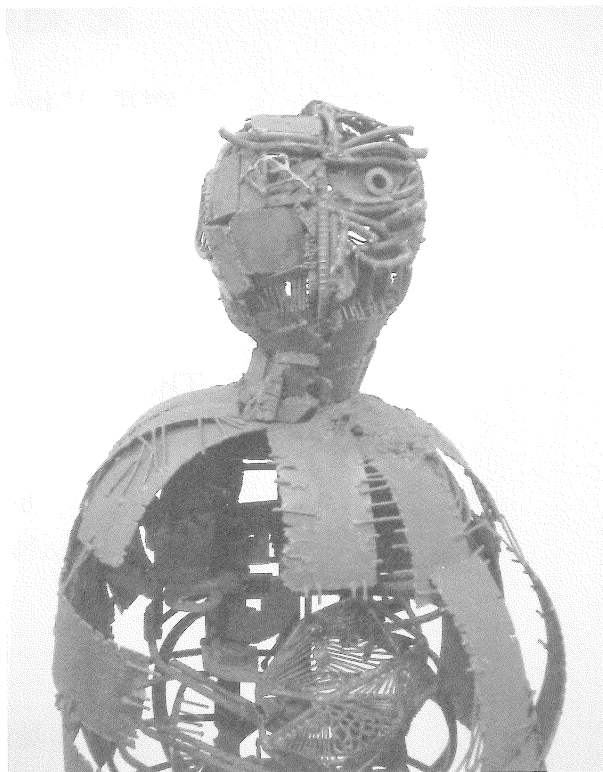
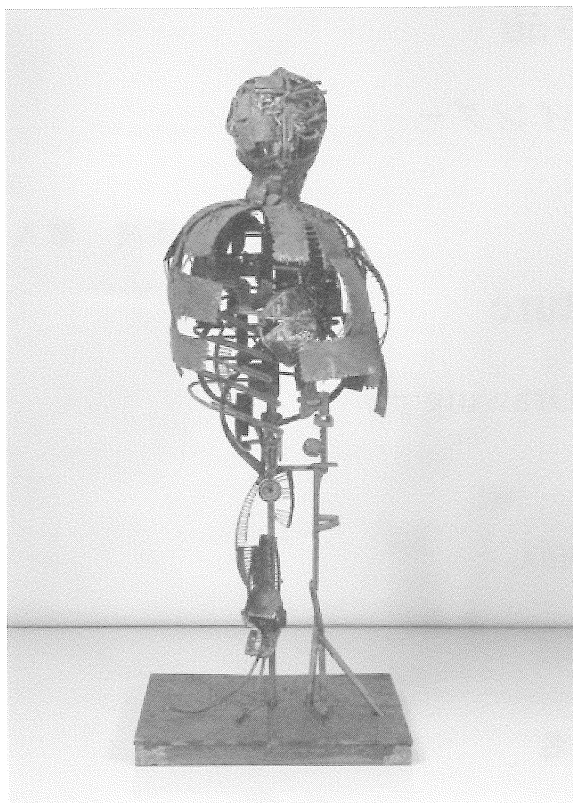
- | | | |
|------------------------|-------------|------------------|
| 1. 空間ドローイング 2010 | 2. Torso | 3. 和田稔少尉の記念碑デザイン |
| 4. 空間ドローイング 2011～相転移～ | 5. パラレルワールド | 6. 大地 |
| 7. 空間ドローイング 2012～HEAD～ | | |

発 表

- | | | |
|------------------------------|-------------------------|------------------|
| 1. 第 64 回二紀展 | 2010 年 10 月 | 国立新美術館（東京都） |
| 2. 台湾&日本国際木彫刻芸術交流展 | | |
| | 2010 年 8 月 8 日～9 月 23 日 | 三義木彫博物館（台湾苗栗県三義） |
| 3. 和田稔少尉の追悼と平和を願う記念碑デザイン | | |
| | 2010 年 8 月 28 日 | 山口県上関町白井田 |
| 4. 第 65 回二紀展 | 2011 年 10 月 | 国立新美術館（東京都） |
| 5. 2012 現代彫刻小品展 | 浜田市世界こども美術館、 | |
| | 大田市町並み交流センター（島根県大田市大森町） | |
| 6. 東広島市現代美術プログラム 2012 宇山 DNA | | |
| | 2009 年 2011 年 | 広島県東広島市河内町宇山 |
| 7. 第 66 回二紀展 | 2012 年 10 月 | 国立新美術館（東京都） |

受理日 平成 24 年 11 月 30 日

純真短期大学こども学科 助教



1. 空間ドローイング 2010

この作品では、動物の骨や皮をイメージさせるように、空間の中に直接ドローイング行うことを意識して構成していった。出来た作品は時間の流れとともに消滅した後、残されたカタチである。「生命の存続の危機」という我々が直面している現代の様々な問題について表現を通して考えていかなければならない。

サイズ：155×40×40（cm）

素 材：鉄（錆び付け）

発 表：第 64 回二紀展 2010 年 10 月

国立新美術館（東京都）



2. Torso

作品に使った木材は楠（クスノキ）である。全体のフォルムは女性のトルソをもとにイメージした。胸の中心あたりに背中まで切り込み・穴を開けて左右二つの卵型の形態になればと考えた。生命の神秘が少しでも表現できればと思う。

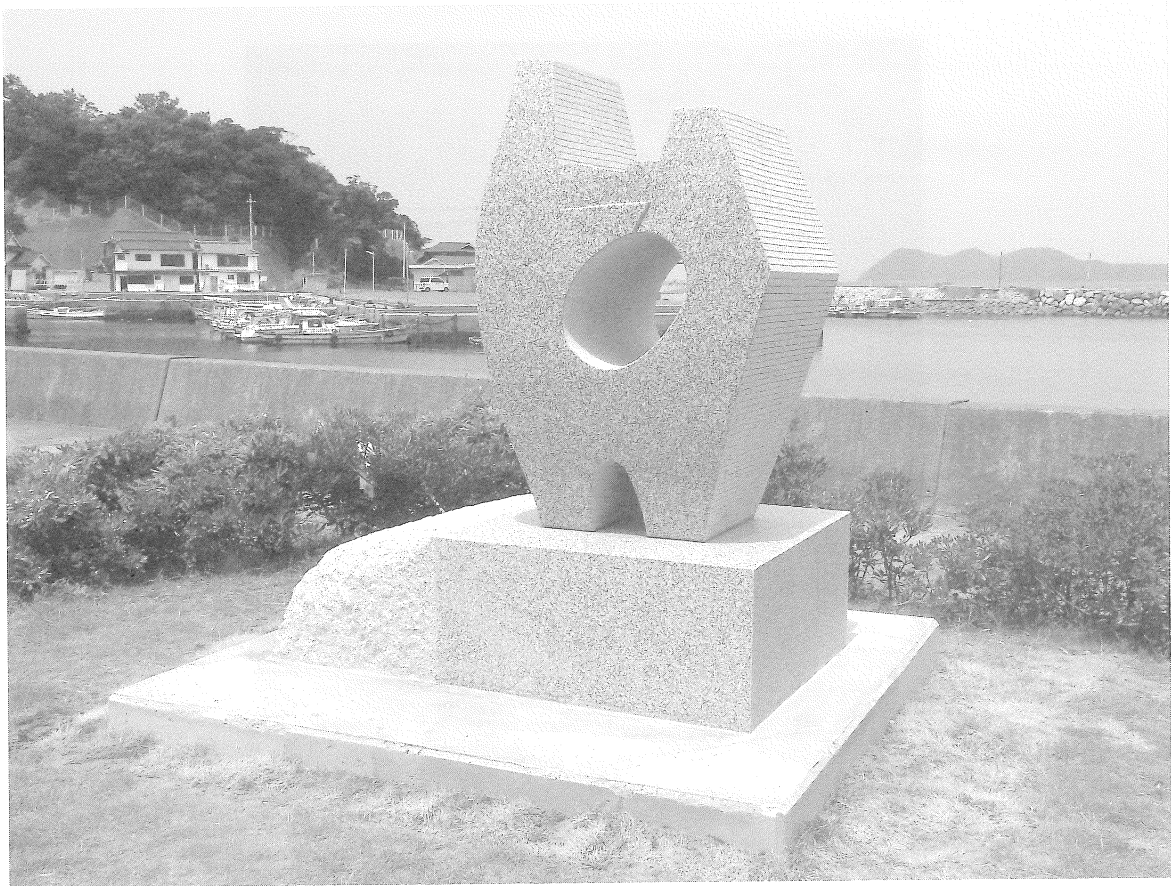
サイズ：60×40×27（cm）

素 材：木（楠）

発 表：「台湾&日本国際木彫刻芸術交流展」

2010年7月7日～9月26日

三義木彫博物館（台湾苗栗県三義）



3.「和田稔少尉の追悼と平和を願う 記念碑デザイン考案」

太平洋戦争末期に人間魚雷「回天」で搭乗訓練中に行方不明になり、終戦後の台風で山口県上関町白井田に漂着した旧日本海軍少尉、和田稔少尉（享年23）の追悼と平和を祈る記念碑である。

記念碑の全体のフォルムは二人の人物が別れを惜しんで手を取り合う姿を表現した。特攻潜水艦「回天」の出口はなかったが、この記念碑には和田稔少尉の安らかなる眠りのために、一つの丸い出口をと穴を中心に開けた。そして、そこから海が見えるように設置した。また、台座には海の波の形を取り込んだ。

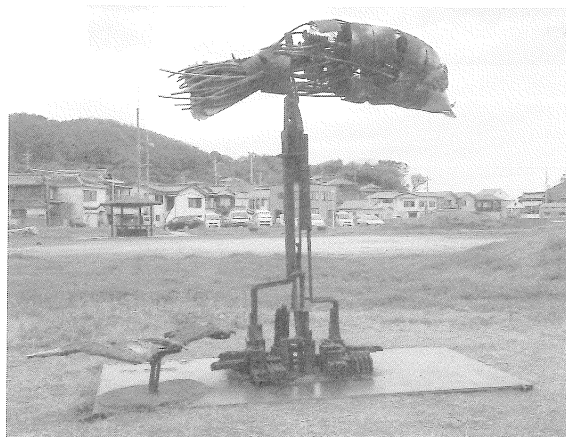
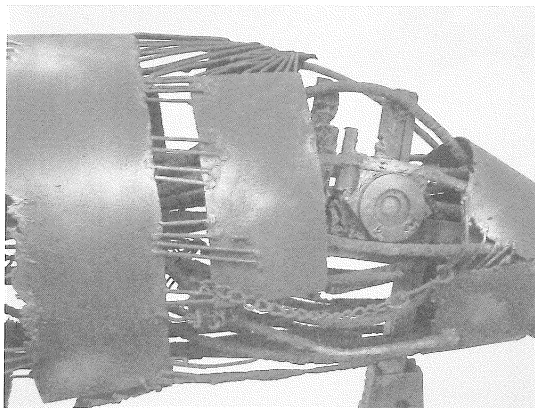
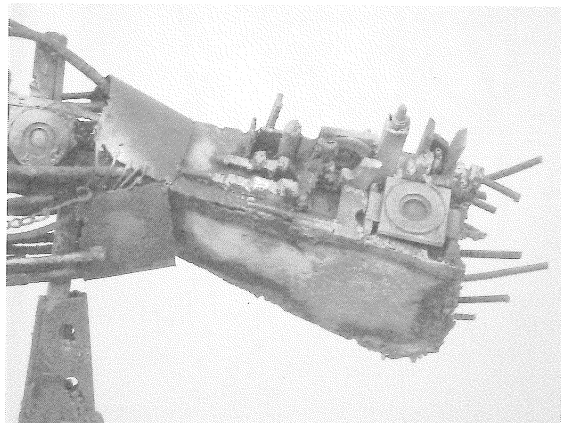
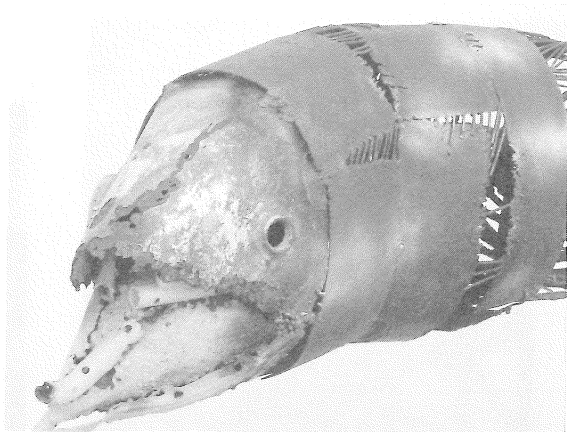
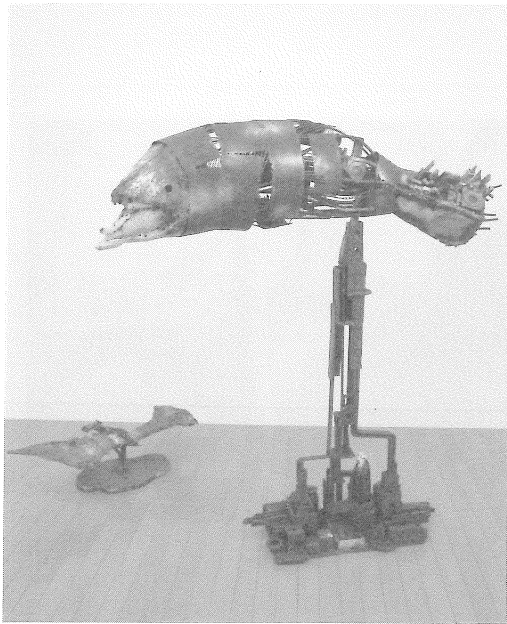
この記念碑・彫刻がここに流れついた和田稔さんの事実と歴史を知らせ、平和な時代が続くことを祈る地になることを願う。

サイズ : 220×180×120 (cm)

素材 : 白御影（みかげ）石

石材加工 : 柏田 鎮（柏田石材店）

建 立 : 2010年8月28日 山口県上関町白井田



4. 空間ドロ잉 2011 ～相転移～

水中にいる魚を上、空を飛ぶ鳥を下とし、位置や大きさを反転させ、ありえない現実を提示することでより生命力の強さを表現しようとした。

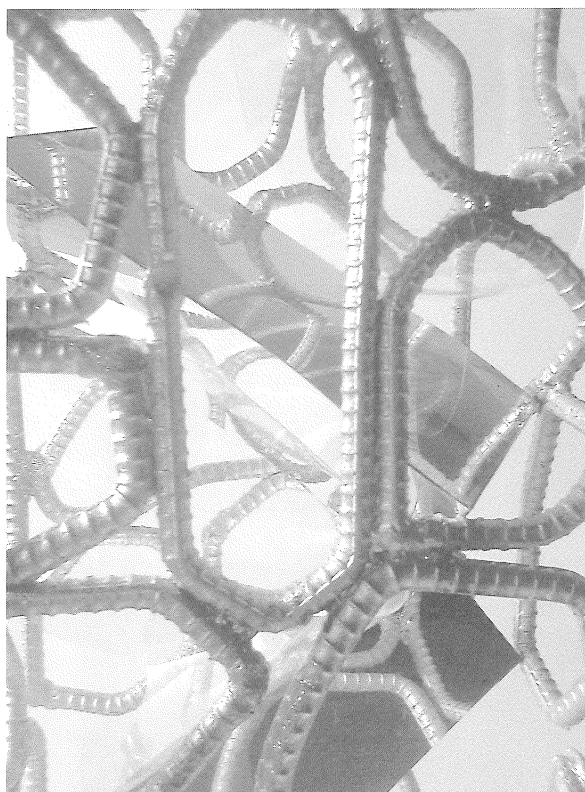
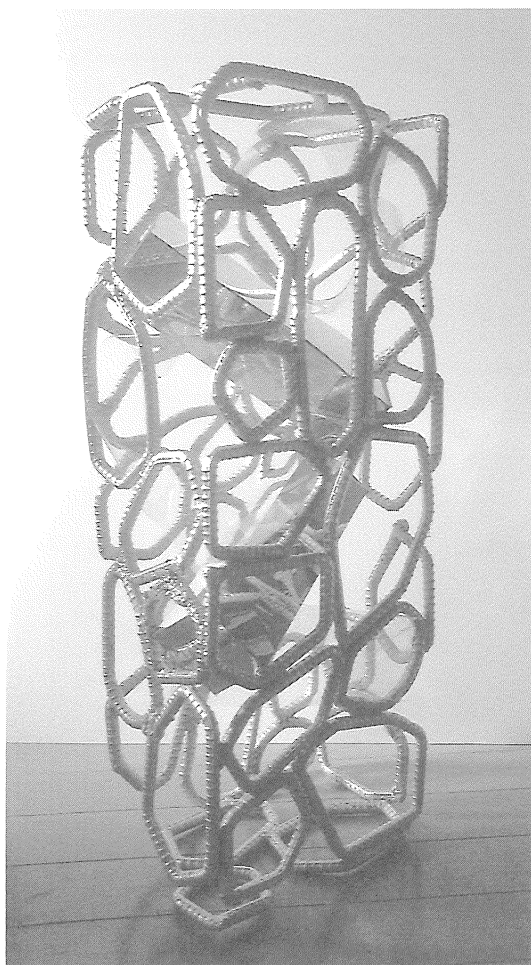
現在は、作品を山口県上関町白井田に寄贈し、設置してある。

サイズ：175×190×85 (cm)

素 材：鉄（錆び付け）、塗料

発 表：第 65 回二紀展 2011 年 10 月

国立新美術館（東京都）



5.「パラレルワールド」

外側を鉄材の線で直方体を形取り、内部には鏡面仕上げされたプラスチック板を三角柱と直方体の形になるよう貼り合わせて入れた。外部からの風景や光と鉄材の内側を同時に写し出すことを考えた。また、薄い透明シートを曲線に曲げて、三角柱と直方体の周りに接着することで空間と光の微妙なゆらぎ、ゆがみを作った。作品題名「パラレルワールド」は、「もう一つの現実や時間」の意味を含むが、そうした少し非現実的な感覚、例えば空想や夢といったものを表現しようとした。

サイズ：75×35×20（cm）

名 称：2012 現代彫刻小品展

主 催：島根県現代彫刻振興委員会

発 表：浜田市世界こども美術館（島根県浜田市）

大田市町並み交流センター（島根県大田市大森町）



6. 大地

空間の中に直接、鉄の素材で描いていく感覚を意識して制作している。この作品は、鉄板と鉄の棒状を使用して作ったものであり、生命体の抜け殻をイメージした。

現在は廃校になっている元宇山小学校のグラウンドに現れた作品・生命体はこの大地で短い夏の間、懐かしいひと時を過ごし、抜け殻だけを残して人々の記憶の中に潜っていったのかもしれない。

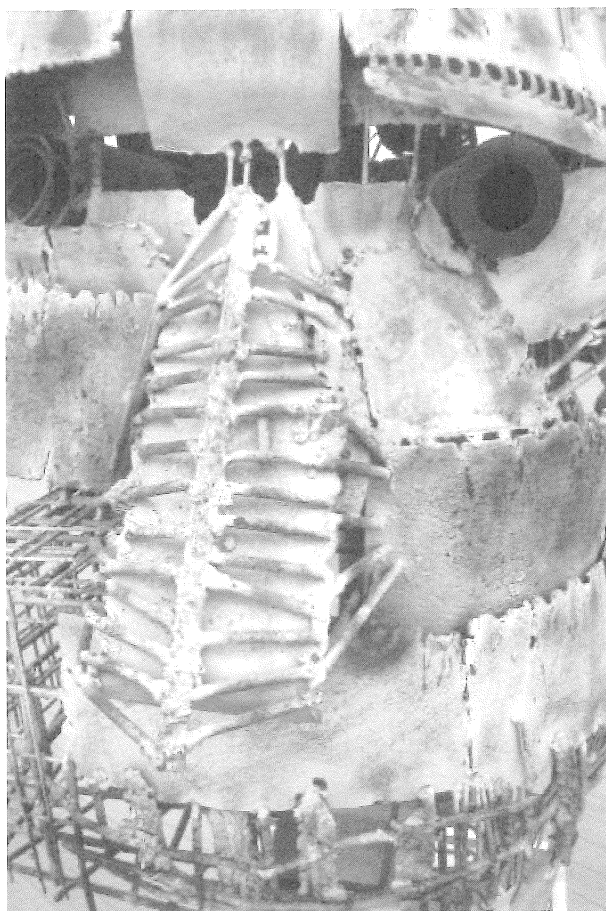
サイズ：150×300×300（cm）

素 材：鉄、自然石

発 表：東広島市現代美術プログラム 2012 宇山 DNA

2009 年 2011 年 8 月 8 日～9 月 23 日

広島県東広島市河内町宇山



7. 空間ドローイング 2012〜HEAD〜

作品「空間ドローイング 2010」の頭だけをクローズアップして大きな頭像をイメージした。フォルムの構成としては、線や面の間から見える内の空間があり、中身が透けて見える。これは、幼児期に見られる描画の特徴である[レントゲン画]を意識して取り入れた。塗装方法として、白の塗料を鉄部に塗り重ねてからヤスリなどで塗料を取る技法[擦りだし]を用いて、下地の鉄錆の色がより鮮やかに見えるように試みた。

サイズ：163×60×90 (cm)

素 材：鉄（錆び付け）、塗料

発 表：第 66 回二紀展 2012 年 10 月

国立新美術館（東京都）